

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 企業理念

希少疾病にとどまらず、最も困難とされる治療の課題に挑戦し、答えを創り出していく

## 売上高

330億72百万円百万円

## 研究開発費

154億31百万円百万円

## 従業員数

987人

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 独自技術の臨床開発推進

J-Brain Cargo®を適用したライソゾーム病治療薬の開発。JR-141のグローバル臨床第3相試験で被験者登録を前倒し完了

## 3. 製造受託事業の展開

2021年ワクチン原薬製造受託を機に、生産技術・ノウハウを活用した製造受託事業の可能性を展開

## 2. 遺伝子治療技術の革新

脳指向性を高め肝指向性を減少させる新たな遺伝子治療技術を開発。従来の課題解決につながる

## 4. 主要製品の供給強化

グロウジェクト®について競合他社の供給問題に対応し増産。売上高は約1.5倍に急拡大し高いマーケットシェア維持

## ③ 対処すべき課題

## ① 成長投資の資金源の多角化

- ・ 契約金収入への依存リスク顕在化。外部企業導出契約依存から脱却が課題
- ・ 国内製品売上の安定成長と複数の収入源確保が必要

## ② 政策・規制環境への対応

- ・ 国内では創薬力向上等の積極的議論。政策方向性を見極めと対応
- ・ 米国規制環境の大きな変化に対応し、国際競争力維持が必要

## ③ 海外展開と体制整備

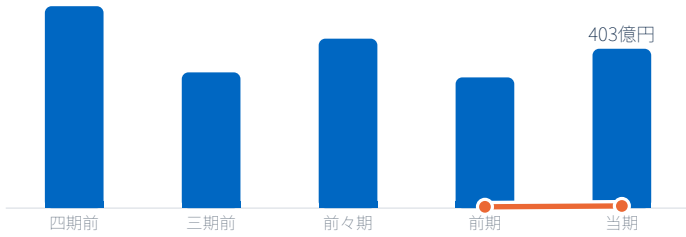
- ・ 海外での臨床開発推進に向けた体制整備と人員拡充。2023年3月末から108人増加し987人体制構築

## 面接で使えるポイント

- ・ 2023年度にスタートした5ヵ年中期経営計画「Reach Beyond, Together」の下…
- ・ グロウジェクト®が売上1.5倍に拡大した事例から、国内市場での柔軟な対応力と営業・製造部門の連携強化
- ・ バイオ医薬品・遺伝子治療技術を有する数少ない日本企業として、国内事業基盤強化と国際展開の両立を目指す経営方針

証券コード 4552

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに  
JCRファーマ株式会社の事業概要

…

主力事業・セグメント

- ・医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
403億円営業利益率  
1.4%財務健康度  
16点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 53.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
819万円

医薬品内 43位/80社

平均年齢  
41.4歳

医薬品内 68位/80社

平均勤続  
9.5年

医薬品内 41位/80社

女性管理職  
16.9%

医薬品内 20位/41社

男性育休  
93.5%

医薬品内 12位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: J C R ファーマ(株)【4552】：決算情報

